

各部の校務実践計画

～今年度の実践具体項目及び昨年度との変更点～

教務部

知識・技能の確実な定着のために、指導方法・指導体制を工夫します！ 学習状況に応じて、重点的に指導したり、繰り返し学習をしたりします！

(1) 教務係

- ① 11月を「学力UP月間」とし、各学年・学習委員会の取組と合わせながら、学習に集中させる期間とする。
- ② 1年生に対し、5月に「学習の手引き説明会」、「評価・評定説明会」を実施する。
*学習の手引き説明会は、担任だけではなく各教科担当からも説明する。保護者には、参観日の学級懇談会の時に評価・評定に関する説明をする。
- ③ 教科における基礎的・基本的な事項を習得する一助として、長期休業中の講習会を検討する。
- ④ 選択教科については以下の内容で行う。

	国語	数学	社会	理科	英語	音楽	合計
1年						前期18	18
2年	後期17	後期17		前期18		前期18	70
3年	前期18	前期18	後期17	後期17	全期35	全期35	140

- *数学の前後期、英語後期は少人数指導を行う。習熟の程度・内容によって分かれる4つのコースのうちから、教科担当の助言を受けながら生徒自身が選択する。
- ⑤ 道徳の授業研究を行うなど、指導の充実を図る。特に、『主として他の人との関わりに関すること』の「望ましい人間関係の構築」「自己及び他者の個性の理解と尊重」に重点を置き、実践していく。また、主体的に学び続ける生徒を目指し、学ぶ意義や価値を理解させ、よりよく生きようとする態度を育成する。
 - ⑥ 健康安全指導の一環として、喫煙・覚醒剤・飲酒・性・食に関する指導を強化する。
 - ⑦ 4月以降の参観日はオープンデイ（地域参観日）とし、全日、授業を公開する。
7月2日（水） 5校時の授業・・・1A英 2A数 3A学（1B 2Bは未定）
11月21日（金） *「総合的な学習の時間」発表会 懇談会なし
2月12日（木） 5校時の授業・・・1A理 2A国 3Aなし（1B 2Bは未定）
 - ⑧ 1・2年生の二者懇談（学校での教師と保護者の懇談）は希望者のみとし、12月9日（火）から実施する。*家庭訪問は、別に実施。
 - ⑨ 今年度の宿泊的行事
1年・・・7月10日（木） 室蘭方面
2年・・・6月3日（火）～4日（水） 函館方面
3年・・・4月23日（水）～26日（土） 東北方面

(2) 学習係

- ① 学習（授業）に向かう基本として、学習4原則の指導を強化する。

○ 忘れ物0を目指そう ○ 時間通りに着席し、自習を開始しよう
○ 人の話には集中して耳を傾けよう ○ 進んで発表しよう

- ② 忘れ物をした場合、まずは担当教諭に報告することを徹底させる。（忘れた物によるが、生徒の判断で学校から電話をするなど、安易に届けてもらわないよう指導する。）
③ 期末テスト、学年末テストは2日間日程で行う。学力テストは1年生3回、2年生4回、3年生8回実施する。

*定期テストは各教科得点と合計点を通知し、学力テストはさらに学年順位を通知する。

(3) 図書係

- ① 読書感想文を、各学年とも夏休みの課題とする。校内審査を行い、市読書感想文コンクールに出品する。
② 朝読書タイム（8：15～8：25）を毎日行う。ただし、定期テスト前5日間は朝自習の取組を行う。
③ 朝読書の時間を利用し、学期に1～2回、朝新聞タイムを行う。（学年別でコラム、社説などを読む）

(4) 地域連携係（新設）

- ① 地域の諸団体（子ども会、自治会行事など）の事業内容の把握と、学校として地域行事の参加や協力の在り方を検討する。
② 地域ボランティアなどの人材や地域環境・素材の教材化、校区小学校との教育実践交流（授業参観も含む）や教員交流（活用）などについて検討する。
③ 年3回の地域参観日の実施と、地域への情報発信の工夫を行う。

生徒指導部

適切な判断ができる自我の確立を目指します！
生徒相互の信頼関係・友情が育つ指導に努めます！

(1) 生徒指導係

- ① 担任による教育相談は4月下旬、10月下旬から11月上旬にかけての2回行う。また、並行して教科担任による教科相談も行う。（副担の教科で実施。担任教科は、必要に応じて、個々に対応する。）
② 自転車点検は、従来の4月に加えて8月にも担任と生活専門委員により行い、事故防止に努める。
③ 徒歩・自転車での登下校を奨励する。

(2) 体育指導係

- ① 今年度の親子交流体育大会は5月25日(日)に実施する。(雨天の場合は体育館で実施。前日の土曜日は昨年同様に休みにし、生徒に休養を取らせる。)
- ② 今年度の強歩会は9月26日(金)に実施し、コースは学校から館山公園の往復約20kmとする。
- ② 部活動は任意加入制とし、個人参加が可能な部活は下限人数の設定をしない。その他、本校に部活動がない個人種目の各種大会参加は、手続きを学校が行う。
- ③ 部活動の顧問は、1つの部活に2名以上の教職員とする。
- ④ 部活動は、原則として水曜日は休養日とする。活動終了時刻は5月～9月が18:00終了。それ以外の期間は17:30終了とする。
*中体連大会前2週間に限り、保護者の同意がある場合のみ1時間程度の延長可。
*定期テスト1週間前、学力テスト1日前は部活動中止。

(3) 給食指導係

- ① 教育活動全体で、食に関する学習の取組を行う。
(給食センター栄養士・栄養教諭とも連携)
- ② 食に関する習慣の育成を図る。「体の健康」「心の育成」「社会性の育成」「自己管理能力の育成」・・・望ましい食習慣の形成
- ③ 食に関する教育の充実のため、給食だよりを充実させる。

(4) 保健指導係

- ① 生・性に関する指導の具体化を図る。

【実践予定事例】

7月の参観日にて、市保健センターやボランティアのお母さんの協力を得て、「赤ちゃんのふれあい体験」を3年生対象に行う。

研修部

生徒の具体的な変容を目指した教育実践を創造します！

研修係

- ① 研修主題 『学校課題の解明を目指す行動目標の設定』
学校課題である「自己管理意識を強く持った生徒の育成」を目指し、求める生徒像や指導目標の具体化を検討する。
- ② 新学習指導要領に関する研修及び平成21年度から始まる移行期間に向けた準備を行う。
- ③ 特別支援教育に関する通信を、年間6回発行する。

各学級の経営方針

1年A組

担任：永堀善之

生徒：17名

副担任：鷹橋亜祐美

学級経営の方針

- (1) 中学生としての自覚をもたせ、何事にも積極的に取り組もうとする意欲をもたせる。
 - 挑戦する気持ちをもって、積極的に取り組む学級
- (2) 思いやりの気持ちをもって、互いに励まし合い、支え合い、鍛え合う姿勢をもたせ、集団を向上させようとする意欲をもたせる。
 - 思いやりの気持ちをもって、協力し合う学級
- (3) 基礎学力、基本的生活習慣の定着を図る。
 - 向上心を持って、真剣に学習する学級

学級目標

「協力・切りかえ・意欲的」

- 協力し、助け合える学級（強く）
- 礼儀正しく、気持ちの切りかえができる学級（正しく）
- 自ら進んで行動し、笑顔あふれる学級（役に立つ）

1年B組

担任：伊藤紗織

生徒：1名

副担任：鷹橋亜祐美

学級経営の方針

- (1) 生徒に応じた効率的な指導を考え、基本的な日常生活を送れるよう努める。
- (2) 将来必要とする社会生活の知識・技能及び態度の育成を図る。
- (3) 生徒が生き生きと学習し、成就感や達成感を持つ場面を多く持つよう努める。
- (4) コミュニケーション能力を養うとともに、自分自身の表現力を養えるよう努める。
- (5) 家庭や関係機関との連携を深め、指導の一貫性に努める。

学級目標

- (1) 日常の基本的生活習慣を身に付ける生徒（強く）
- (2) 集団生活や社会生活に必要なルールを守る生徒（正しく）
- (3) 自ら進んで行動する生徒（役に立つ）

2年A組

担任：小早川由希子

生徒：32名

副担任：永瀧幸治

学級経営の方針

生徒一人一人の人間性を大切にし、仲間を思いやり、認め合い、更に協力し合う学級集団を創り上げていく。

- (1) 集団の一員としての役割を自覚させ、集団の向上発展に尽くす能力を伸長させる。
- (2) 充実した学級活動の方策を考え、生徒が主体的に活動できるよう指導する。
- (3) 生徒同士、生徒と教師、保護者と教師間のコミュニケーションを円滑にし、学校生活の向上を図る。

学級目標

- (1) 自ら進んで行動する学級（強く）
- (2) けじめをつけ、メリハリのある学級（正しく）
- (3) 仲間と共に、団結し合う学級（役に立つ）

2 年 B 組

担任：木村健志
副担任：永瀧幸治

生徒：1名

学級経営の方針

- (1) 生徒の特性などを的確に把握して、実態に応じた適切な指導に努める。
- (2) 学習環境や言語環境を整え、全職員及び生徒と共通理解を図りながら学級運営に努める。
- (3) 生徒がのびのびと生活できるよう、明るく楽しい雰囲気づくりに努める。
- (4) 対人関係の向上を図るとともに、コミュニケーション能力を養う。
- (5) 家庭や関係機関との連携を深め、指導の一貫性に努める。

学級目標

- (1) 自分でできることは、自分でする生徒（役に立つ）
- (2) 集団生活のルールを理解し、行動する生徒（正しく）
- (3) 健康で安全に生活できる生徒（強く）

3 年 A 組

担任：横山 仁
副担任：萩原逸子・三澤 勝

生徒：27名

学級経営の方針

- (1) 将来を見通した自分の進路について考えさせ、学習に意欲的に取り組ませる。（強く）
- (2) 生徒一人一人との信頼関係を大切にさせる。（正しく）
- (3) 卒業後、社会人として自立できるように、自主・自律の力を身に付けさせる。（役に立つ）

学級目標

- 教師の願い ☆ 人間関係を大切にする、会話のできる学級
☆ 自己実現に向けて、意欲的に学習へ取り組む学級

～ Conversation ～ 団結力と積極性を身に付け発揮しよう

その他の検討課題

1. 現行の指定ジャージ生産中止に伴い、新ジャージの選定作業を開始します。
2. 学校評価（保護者・生徒・地域アンケート）の内容、対象者、改善策の策定方法など、継続して改善していきます。

社会全体ではぐくむ『生きる力』

家庭をはじめとして、社会全体で、子どもたちの『生きる力』をはぐくんでいくことにご理解とご協力をお願いします

《日常生活を充実するために家庭での取組の例》

- 学校での出来事について、子どもと話し合う場をもつ
- 「おはよう」「いただきます」「おやすみ」などの挨拶をさせる
- 早寝、早起きをさせる
- 毎日朝食を食べさせる
- 子どもが手伝う家事の分担を決める
- テレビやゲームの時間にルールを決める
- 家で読書や勉強をする時間をとる
- 子どもと一緒に地域の活動に参加したり休みを過ごすこと

■ 家庭や地域と、子どもの姿の共有化・連携づくりに努力します。

ご指導、ご協力の程よろしくお願いいたします。

伊達市立達南中学校 TEL 0 1 4 2 - 2 4 - 1 1 5 3

ホームページも是非ご覧ください。

『伊達市ホームページ』 → 学ぶ『学習・教育』
→ 『達南中学校』

<http://www.city.date.hokkaido.jp/gakkou/n96bln000002jnd2.html>